

その雑学知識、 間違っています！

世界一高い山は...



織姫様と
彦星様は...

著 しょうい

目次

その雑学知識、間違っています！

はじめに

目次

日本一大きな砂丘は「鳥取砂丘」ではない

フリーマーケットの「フリー」は「自由」という意味ではない

世界一高い山は「エベレスト」ではない

ホッキョクグマの体毛は白くない

ショートケーキの「ショート」の意味はショートニングではない

「にやける」という言葉は「薄笑いをする」という意味ではない

世界最古の人類は「アウストラロピテクス」ではない

塩をかけられたナメクジは溶けているわけではない

島根県にある「出雲大社」は「いずもたいしゃ」と読まない

カカオの生産量世界一の国はガーナではない

大晦日につく除夜の鐘の数は108回ではない

タラバガニはカニではない

テレビの「インチ」は縦や横の長さではない

ガラスは固体ではない

大気中に3番目に多く含まれている気体は二酸化炭素ではない

百年戦争の期間は「百年」でない

へびのしっぽは体全てを指すわけではない

西郷隆盛の肖像画は本人の顔ではない

人間は鼻の両穴を通して鼻呼吸しているわけではない

ロダンの彫刻『考える人』は何も考えていない

織姫様と彦星様の関係は「恋人」ではない

電話機を最初に発明したのはベルではない

オスの蚊は血を吸わない

オスの蜂は刺さない

セミは口で鳴いていない

数学の空集合を表す「 $\emptyset$ 」はギリシャ文字の「ファイ」ではない

ゴリラがドラミングする時の手の形はグーではない

日本語を話す国は日本だけではない

マクドナルドのロゴはアルファベットの「M」を表していない

「フレッシュマン」の定義は「新社会人から」ではない
最後に

その雑学知識、間違っています！

著：しょうい

はじめに

世の中には様々な雑学であふれかえっています。しかしそれらは本当に正しい雑学なのでしょうか？

答えは「ノー」です。

世間で広まっている雑学の一部は間違った情報を含んだものもあります。というか間違った雑学であることを知らずに周りに広めている親や先生がいるくらいです。

これを聞くと「たかが雑学だから多少間違った情報を覚えていても問題ないでしょ」と思う方がいるかもしれません。しかし雑学というのは単に知っている「へえー」となる情報だけでなく、学校のテストに影響するものや社会常識として認識されるものなども含まれています。つまり間違った雑学知識をもっていることはその人の人生を大きく左右してしまうのです。

もちろん知らない方が良い雑学もあります。間違った雑学で認識している方が幸せになる場合があるということは私も承知の上です。そうではなく、知らないとあらゆる点で損をする可能性がある雑学を今回はピックアップしました。皆さんの認識している雑学知識と照らし合わせながら是非最後までご覧ください。

目次

はじめに

日本一大きな砂丘は「鳥取砂丘」ではない

フリーマーケットの「フリー」は「自由」という意味ではない

世界一高い山は「エベレスト」ではない

ホッキョクグマの体毛は白くない

ショートケーキの「ショート」の意味はショートニングではない

「にやける」という言葉は「薄笑いをする」という意味ではない

世界最古の人類は「アウストラロピテクス」ではない

塩をかけられたナメクジは溶けているわけではない

島根県にある「出雲大社」は「いずもたいしゃ」と読まない

カカオの生産量世界一の国はガーナではない

大晦日につく除夜の鐘の数は108回ではない

タラバガニはカニではない

テレビの「インチ」は縦や横の長さではない

ガラスは固体ではない

大気中に3番目に多く含まれている気体は二酸化炭素ではない

百年戦争の期間は百年ではない
へびのしっぽは体全てを指すわけではない

西郷隆盛の肖像画は本人の顔ではない

人間は鼻の両穴を通して鼻呼吸しているわけではない

ロダンの彫刻『考える人』は何も考えていない

織姫と彦星の関係は「恋人」ではない

電話機を最初に発明したのはベルではない

オスの蚊は血を吸わない

オスの蜂は刺さない

セミは口で鳴いていない

数学の空集合を表す「 $\emptyset$ 」はギリシャ文字の「ファイ」ではない

ゴリラがドラミングする時の手の形はグーではない

日本語を話す国は日本だけではない

マクドナルドのロゴはアルファベットの「M」を表していない

「フレッシュマン」の定義は「新社会人から」ではない

最後に

日本一大きな砂丘は「鳥取砂丘」ではない

小・中学校の地理のテストで
「日本一面積の大きい砂丘はどこ？」「正解は鳥取砂丘」
というのが当然のように出題されています。テストでなくても
「日本で一番大きい砂丘は鳥取砂丘だ」
という固定概念がつくられています。

実を言うと、鳥取砂丘よりもはるかに面積の大きい砂丘が日本国内に存在するのです。それが青森県に位置する「**猿ヶ森砂丘（さるがもりさきゅう）**」という砂丘です。猿ヶ森砂丘は鳥取砂丘の3倍の広さをもつ砂丘となっています。そんなに広い砂丘がなぜ世間に知られていないのか、これには理由があります。実はこの猿ヶ森砂丘、**自衛隊の駐屯地**となっているのです。砂丘内で普通に銃弾が飛び交うため、一般の方の立ち入りが禁止されているのです。そのため観光名所としての価値はほとんどなく、あまり知られていないのでしょう。というわけで、日本で一番面積の大きい砂丘は「猿ヶ森砂丘」というのが正しい答えです。鳥取砂丘は日本で二番目に大きい砂丘となります。

フリーマーケットの「フリー」は「自由」という意味ではない

フリーマーケットといえば使わなくなった所持品などを売買したりタダであげたりすることで有名でしょう。その自由取引ができる様子から、フリーマーケットの「フリー」は英語で「自由」という意味の「Free」だと思い込んでいる方も多いことでしょう。

しかしこれは「自由」という意味ではないのです。

「え、英語の『Free』じゃないの!？」

と思った方もいるかもしれません。

実はこの「フリーマーケット」の「フリー」は「ノミ」を表す「Flea」から取っています。そうです、あの小さな虫、「ノミ」です。つまり「フリーマーケット」は「自由な市場」ではなく「ノミの市場（＝蚤の市）」という風に訳されるのです。

ではなぜノミを表す「Flea」が使用されているのか。これには諸説ありますが、中古品を売買している様子が「ノミが湧くような古いモノの取引をしている」ように例えられ、それが「蚤の市」を表す「フリーマーケット」に繋がったという様に考えられています。

日本フリーマーケット協会では「誰もが気軽に参加できるように」という願いを込めて、あえて「free market」の英文を採用し、同協会の商標及びサービスマークとしているそうです。

世界一高い山は「エベレスト」ではない

「世界で一番高い山はネパールに位置する『エベレスト』である」
という話はきっと誰もが耳にしたことがあると思います。

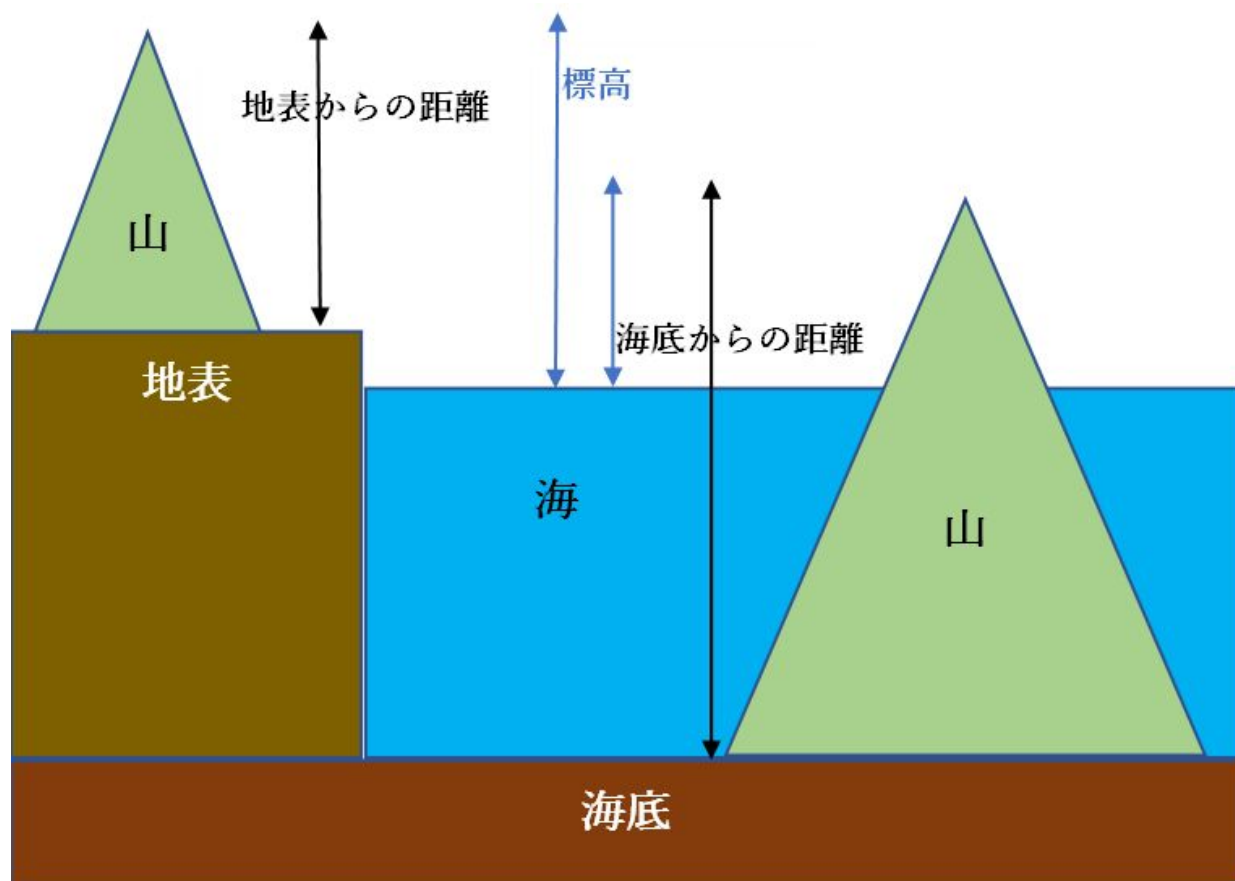
しかしこの文面だけで見るとこの情報は間違っています。
「この文面だけ見ると間違っているってどういうこと？」
と疑問に思った方もいると思いますが、実はこれ、「世界一標高の高い山」と表示すれば「エベレスト」が答えになるのです。「標高」という言葉が辞書的意味で「平均海面から測った高さ」という意味をもっています。つまり海の水面から最も高い所に最高地点があるのがエベレストなのです。

アメリカ・ハワイ州には標高4205mの「マウナ・ケア」という山がありますが、この山は海の底からできており、そこから計測すると高さは10203mになり、エベレストをはるかに上回る高さをもつ山となります。

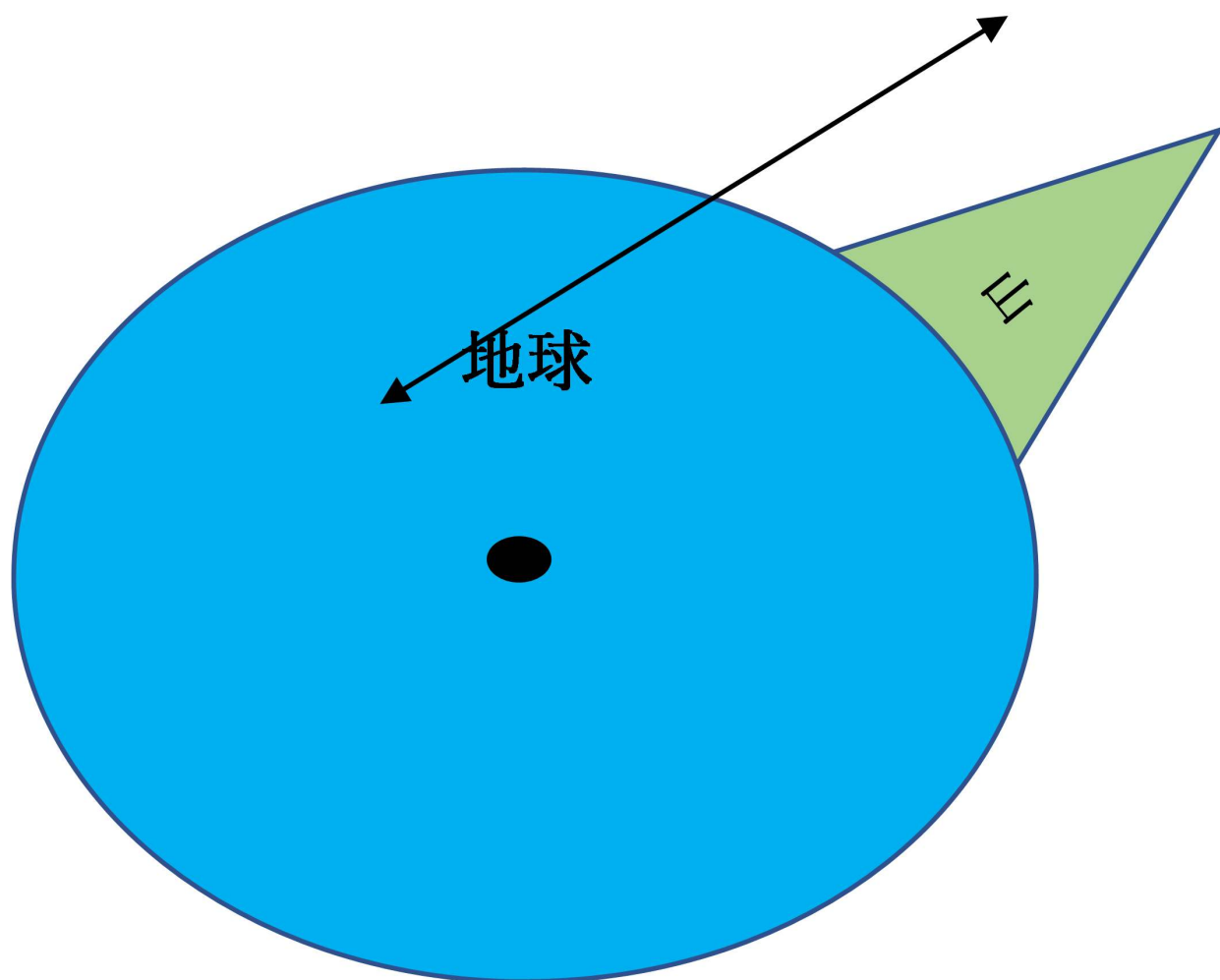
そのため、「世界一高い山は何でしょう？」という問いでは答えはエベレストにはならず、「世界一標高の高い山は何でしょう？」「海底からの距離で世界一高い山は何でしょう？」という文章に変えることで前者の答えが「エベレスト」、後者の答えが「マウナ・ケア」という様に区別することができるのです。

他にも「地表からの距離で世界一高い山＝アメリカの『デナリ』」「地球の中心からの距離で世界一高い山＝エクアドルの『チンボラソ』」などがあるため、言葉のチ

ヨイスには気を付けたいところです。



地球の中心からの距離



ホッキョクグマの体毛は白くない

動物園でも見ることができ、その大きさと荘厳な姿に感動するホッキョクグマですが、皆さんはあのホッキョクグマの体毛は何色に見えますか？もちろん白色に見えますよね。

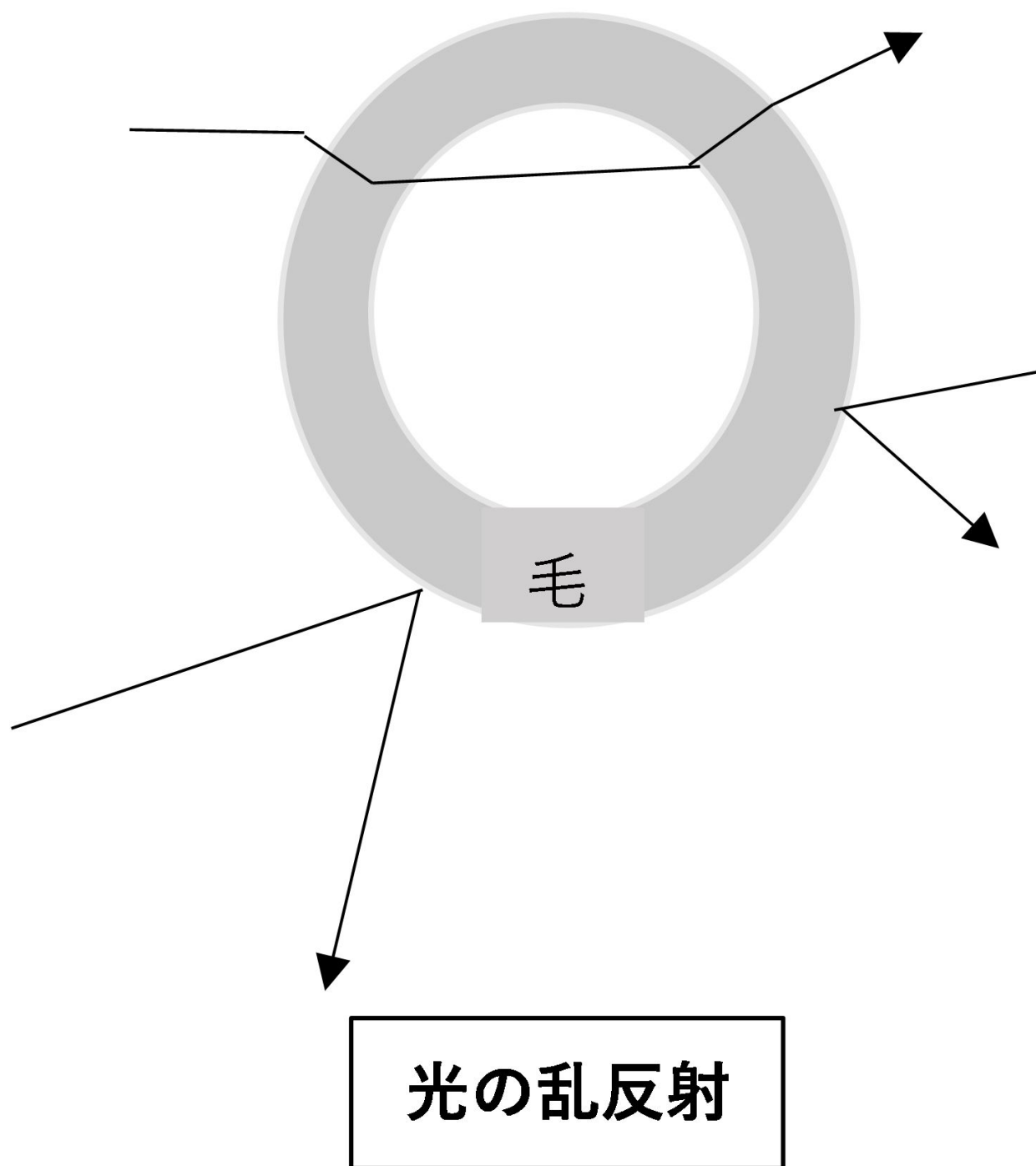
しかし見た目だけで「ホッキョクグマの体毛は白色だよ」と思い込んでいませんか？

実は数々の研究を通して、ホッキョクグマの体毛は**透明**であることが判明されているのです。ホッキョクグマの体毛は中心が空洞になっており、その中にある空気に当たる光が乱反射し、その結果体毛が白く見えるのです。

これと似た原理が「大根」でも説明できます。野菜の「大根」は生の状態は白いですが、茹でると透明になりますよね。これは茹でることによって大根の中の空気の粒が減少し、光の乱反射が起こらなくなったから色が変わって見えるのです。つまり色が変わったわけではなく、もともと大根は透明なのです。それに空気の粒が多数存在することで白く見えるのです。

話が逸れましたが、以上が「ホッキョクグマの体毛が白く見える原理」です。ホッキョクグマに関する他の雑学を加えておくと、ホッキョクグマの肌の色は「黒」です。「真っ黒」です。動物園で黒っぽいホッキョクグマを見たときに「あのホッキョクグマ大丈夫かな」と心配する方もいると思いますが、大抵の場合は体毛を刈って肌が見えている状態となっています。この「ホッキョクグマの肌は黒い」という雑学知

識も役に立つ日が来ると良いですね。



ショートケーキの「ショート」の意味はショートニングではない

ショートケーキといえばスポンジの上にクリームを塗り、いちごなどをトッピングするお菓子でとても甘くて美味しいものです。私も大好きです。

そんなショートケーキについての雑学ですが、

「ショートケーキにはショートニングが使用されているからこの『ショート』は食用油脂の『ショートニング』のことだ」

と思っている方がいると思いますが、それは間違いです。ショートケーキの「ショート」は「サクサクする」「ぼろぼろする」という意味をもつ英単語「short」からきているのです。つまり、ショートケーキの「ショート」は「サクサクした」というのが本当の意味なのです。

英単語の「short」と聞くと「短い」「不足した」などの意味が想起されますが、それ以外にも「サクサクする」「もろい」などの意味も持っています。これは実際に意味を調べていただくとできます。

というわけで、ショートケーキの「ショート」は食用油脂からきているのではなく、「サクサクした」という英単語「short」からきているというのが正しい見解です。

「にやける」という言葉は「薄笑いをする」という意味ではない

誰かが微笑んだ顔をしている様子を見て
「何ニヤけてんだよ〜」「にやけた顔してるな」
と言うシチュエーションをよく見かけます。私自身も正しい意味を知らなかった子供の頃はこの「にやける」という言葉を間違って使用していました。しかし本来の正しい意味を理解して以来、この言葉はほぼ使わなくなりました。

「にやける」という言葉を辞書で調べると
「男が女のようになよなよと色めいた様子をする事」
という意味が出てきます。要するに「にやける」という言葉は「薄笑いをする」「ニヤニヤする」という意味をもたないのはともかく、女性に対しては使われない言葉なのです。

ではどういうときにこの言葉を使用するのか。それは男性が女性のように色っぽく振舞っている場合や、弱々しく見せている場合に
「彼は色っぽさを見せてにやけているなあ」
という様に使用します。

「薄笑いをする」という意味として使いたいときは「ニヤニヤする」という言葉を使うのが正しいため、「にやける」と「ニヤニヤする」を区別して使うよう心がけたいところです。

世界最古の人類は「アウストラロピテクス」ではない

皆さんが子供の頃、世界最古の人類は何だと教えられましたか？私は「アウストラロピテクス」と教えられました。当時は2010年前後で、私は小学生でした。2021年現在の教育で最古の人類が何と教わっているのかは分かりませんが、社会は常に変化を続け、日々新しい情報が更新されていきます。2021年現在で発見されている中で世界最古の人類は「サヘラントロプス・チャデンシス」という人類だと認識されています。約700万年前に生息していたとされ、現在の「チャド」という国でその化石が発見され、2013年に「世界最古の人類」として認定されました。

ただ、先程も述べましたが、情報は日々更新されていきます。2021年現在で認識されている世界最古の人類は「サヘラントロプス・チャデンシス」ですが、後になって古文書を読み解いた末、大発見をするということも起こり得ます。変化の激しいこの時代、新しい情報を常に収集することを怠らず、柔軟に対応する力が求められます。

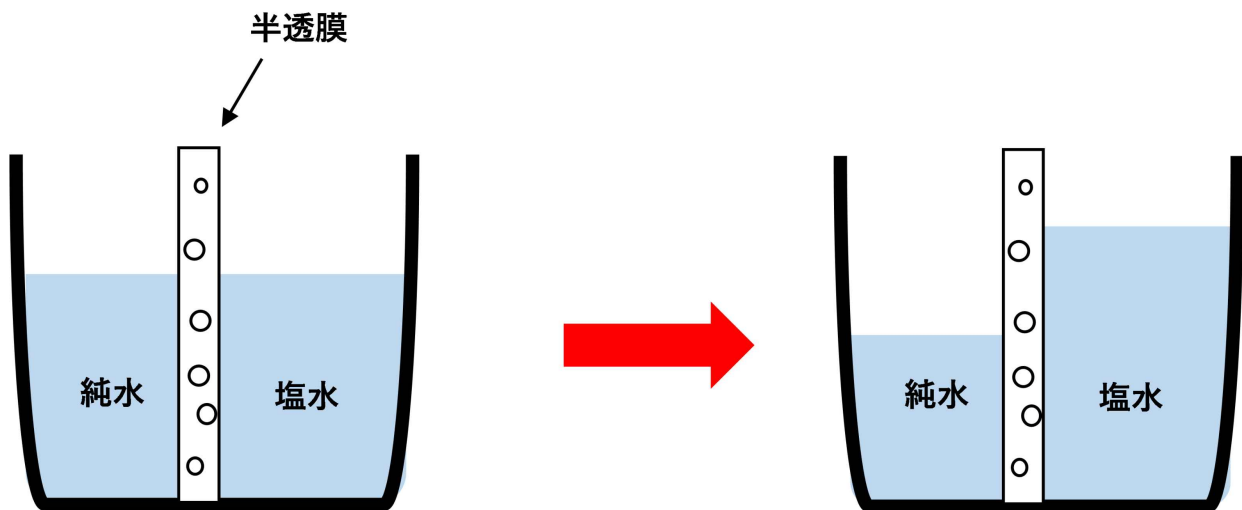
塩をかけられたナメクジは溶けているわけではない

皆さんが子供の頃、ナメクジに塩をかけてドロドロになっていく様子を見たという体験をきっと誰もがしたことがあるでしょう。ねばねばした液体をだしながら体が縮んでいく様子から

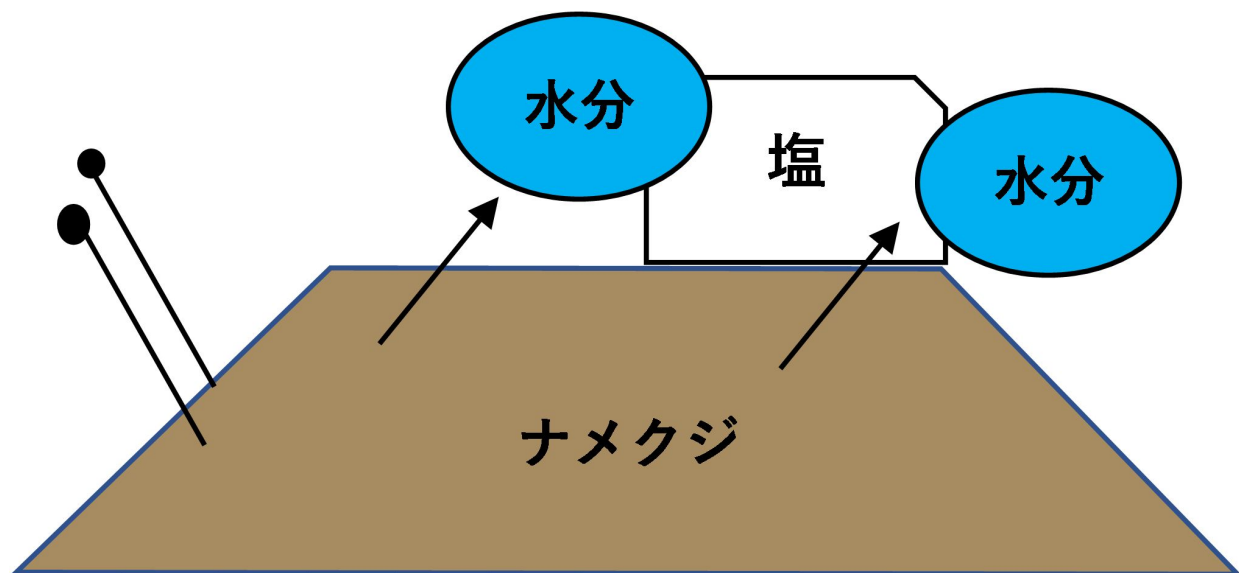
「ナメクジに塩をかけると溶ける」

という風に教えられますが、**実際にはナメクジは溶けておりません。**

厳密に言うと、塩をかけられたナメクジは体内の水分が塩によって体外に排出されているのです。これは「浸透圧」という原理によるものです。細かな原理は高校の化学で習うためここでは詳細に説明しませんが、分かりやすく説明すると、下記の図のように「液体の濃度を均一にするために、濃度の高い液体の方に水が移動する」ことです。



ナメクジの体の約90%は水分で構成されています。そのため、体外から塩をかけられると体内の塩分濃度よりも体外の塩分濃度の方がはるかに大きくなります。ナメクジの体は人間のような皮膚をもっておらず、水分を簡単に通してしまうような「半透膜」という薄い膜で構成されているため、塩をかけられたときにナメクジの水分は体外に移動します。塩がナメクジの水分をどんどん吸収していき、その結果ナメクジの体が縮んでいき溶けているように見えるのです。



好奇心旺盛でナメクジに塩をかけて実験したいという気持ちは分かりますが、ナメクジの命を守るためにもほどほどにしてくださいね。

島根県にある「出雲大社」は「いずもたいしゃ」と読まない

島根県に位置し、縁結びの神・福の神として名高い「出雲大社」ですが、皆さんは

「出雲大社」

これを何と読んでいますか？

「いずもたいしゃ」と読んでいませんか？

もし「いずもたいしゃ」と読んでしまっていたならばここでしっかり直しておきましょう。

実はこれ、「**いづもおおやしろ**」と読むのです。これは実際に公式サイトでも同じように表記されています。なぜこのように読むのかは明らかになっておりませんが、この「おおやしろ」は出雲大社のみが使う正式名称なのです。春日大社や住吉大社などの「大社」は「たいしゃ」と読み、また、他県にある出雲大社の分社は「いずもたいしゃ」と読みます。

「読み方が2通りもあってややこしい」

と感じるところではありますが、読み方を区別して覚えるようにしましょう。

カカオの生産量世界一の国はガーナではない

チョコレートの中によく入っている「カカオ」。皆さんはこの「カカオ」の生産量が世界一なのはどこの国であるか考えたことがありますか？チョコレート菓子の商品名として「ガーナ」というものがあるため、カカオの生産量世界一の国も「ガーナ」であると思い込んでいる方もいるでしょう。

確かにガーナもカカオを大量に生産しています。年間に80万トンを超える量のカカオを生産しています。

しかしガーナはカカオ生産量世界**第二位**の国なのです。ガーナよりもはるかに多いカカオを生産している国が別に存在するのです。

それが、ガーナの隣に位置する「コートジボワール」という国です。

実はこのコートジボワールがカカオの生産量世界一の国となっているのです。コートジボワールはガーナの生産量をはるかに上回り、年間120万トンものカカオを生産しています。ガーナもコートジボワールも熱帯地帯に属するため、このようにカカオの生産が豊富なのでしょう。

大晦日につく除夜の鐘の数は108回ではない

年が明ける時に各地のお寺で行うのが恒例である「除夜の鐘」。人間の108の煩惱を取り除いてから新年を迎えるために、大晦日の夜から元旦にかけて鐘を108回つくのが基本となっています。

しかし、ただやみくもに108回つけばいいというわけではありません。これは時間帯によってつく回数を制限しなければいけません。

正式な方法では、**除夜の鐘は大晦日（12月31日）に107回、そして最後の1回を元旦（1月1日）につく**という構成になっています。つまり、除夜の鐘の数は大晦日と元旦の二日に分けてつくのが基本なのです。私自身も108回つくということは知っていたのですが、大晦日に鐘をつく数と元旦につく数も決まっていたことは最近まで知りませんでした。だからこそこの情報を皆さんにも共有したいと思いこの雑学を取り入れさせていただきました。

「年末年始につく除夜の鐘の数は大晦日に107回、元旦に1回」
この知識、是非覚えておきましょう。

タラバガニはカニではない

日本では主に北海道が名産地であり、冬の定番食となっている「タラバガニ」。カニ鍋や蒸し蟹にして食べるものは最高ですね！

そんなタラバガニですが、実はこれ、カニではないのです。実はタラバガニはやどかりに分類されるのです。

これはタラバガニの足の数を数えると納得します。カニの足は通常10本ありますが、タラバガニの足を数えると8本しかありません。

タラバガニの他にも、ハナサキガニやアブラガニなども「カニ」という言葉がついていますがヤドカリに属するのです。ちなみにこれらもそれぞれ足が8本であるため、カニであるかの区別はどうやら「足の数が10本であるか否か」を調べるのが有用なようです。

この雑学知識とは別に、タラバガニの「タラバ」という言葉が「タラの漁場」から来ているという雑学知識も持っていれば周りに自慢できるでしょう。

テレビの「インチ」は縦や横の長さではない

皆さんは長さの単位「インチ」という言葉をご存知でしょうか？ご存知の方はそれがどれくらいの長さを表すのか把握していますか？

「インチ」とはヤード・ポンド法における長さの単位のこと、1 インチ = 2.54cm と定められています。記号では「in」と表記され、テレビの大きさを測るときなどによく使用されます。今回はこの「テレビにおけるインチがどこを指すのか」について説明します。

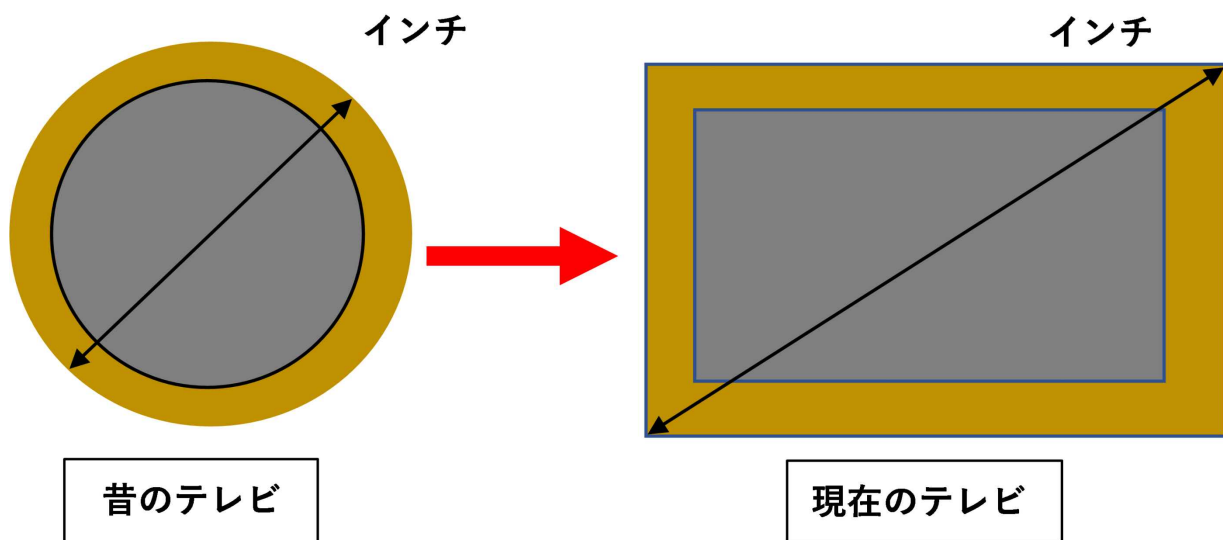
皆さんが正しいテレビにおけるインチの測り方を把握しているかどうか確かめるために、お手元のテレビで測ってみてください。お手元がない方はテレビにおけるインチを測っている様子を想像してください。

どうですか？

テレビの縁に沿って上から下、あるいは左から右へ測りましたか？

もしそう測っていた場合、テレビにおけるインチを正しく測れておりません。

実は、テレビにおける「インチ」は「テレビの**対角線**の長さ」のことを指すのです。



つまりテレビは斜めに測るのが正しい測り方なのです。

なぜテレビにおける「インチ」がテレビの斜めの長さを指すのか。実は昔のテレビは丸い形をしており、横で測っても斜めで測っても同じ値をとっていたため、斜めに測ることもしてありました。そのやり方が現在でも踏襲されて斜めの長さで測るようになったと考えられています。

ガラスは固体ではない

「ガラス」と聞いて皆さんは何を想像しますか？お皿やコップ、窓など多くの用途で使用されるもので、大きな衝撃が加わると割れてしまうという性質をもつというイメージを誰もがもつと思います。

そんなガラスについてですが、
「ガラスは水のように変形せず、一定の形を保っているから固体だ」
と思う方もいらっしゃると思いますが、実は化学的には**ガラスは固体ではない**のです。

厳密に言うと「**固体と液体の中間**」に位置します。化学ではガラスの状態を「**アモルファス**」と呼びます。アモルファスという言葉は高校の化学で習うためここでは細かな説明はしませんが、分かりやすく説明すると「固体」は原子の配列が規則正しく並んでいます。ガラスのような「アモルファス」と呼ばれる分類に属するものはこの配列が不規則であり、固体とは言い難い配列をなしているのです。

ガラス以外にも「ゴム」もアモルファスに分類されます。

スライムも「固体と液体の中間」に属しますが、これは「粘弾性体」や「ゲル」などと呼び、アモルファスとはまた別の分類に属します。化学の世界って未知なことがいっぱい面白いですね。

大気中に3番目に多く含まれている気体は二酸化炭素ではない

地球の最下層にある気体で、私たちの身の回りにある「空気」。この空気がどの気体で占められているか皆さんは把握していますか？

小学校や中学校の教科書だと

「窒素78%,酸素21%,二酸化炭素やその他1%」

などと記載されていることが多いため、この表記では

「二酸化炭素が空気中で3番目に多い気体だ」

と勘違いしてしまう子が現れてしまうでしょう。

実際にそれは勘違いです。間違いです。

空気中（大気中）に3番目に多い気体は「アルゴン」という気体なのです。

「え、何それ？聞いたことない気体だ」

と思った方が多いと思います。なにしろこの気体に関しては高校の化学で習うため、聞き覚えがなくて当然です。とはいえ二酸化炭素よりも多く存在しているため、上記のような

「二酸化炭素やその他1%」という表記では誤解を生じ、間違っ覚えてる人が増えてしまう可能性があるので

「窒素78%,酸素21%,アルゴン0.93%,二酸化炭素やその他0.07%」

と表記するべきだと私は感じます。

ちなみに私自身も受験生になるまではこの事実を知りませんでした。この情報は大学入試でも問われるくらいです。だからこそこの事実を皆さんに伝えたくこの雑学を選ばさせていただきました。是非参考にしてください。

百年戦争の期間は「百年」でない

百年戦争といえば14世紀頃のヨーロッパで、イングランド王国のプランタジネット家とフランス王国のヴァロワ家が対立して起こった大規模な戦争で、学校で習ったことがあると思います。その長い期間から「百年」という言葉が使われていますが、厳密に言うと**百年戦争は百年より長く続いています**。その期間は1337年から1453年の116年間です。

この知識は歴史好きなら知ってて当然だという人もいると思いますが、念のためにより詳細な情報を提供するためこの雑学を提案しました。

この雑学知識とは別に「歴史の勉強法」について自分なりの方法を説明しておく、歴史上の出来事は年号も暗記しておくことを薦めます。学校の先生から「歴史は流れをおさえることが大事だ」

と教わった方が多いと思います。確かに流れをおさえることも大事ですが、それが苦手な方にとってはそんな漠然としたアドバイスでは上手くできないと思います。

そこでオススメするのが「年号とセットで暗記すること」です。これなら

「応仁の乱は1467年に起こり、銀閣寺は1473年に建てられたからこれらの出来事は近い年に起こったんだな」

などと流れも含めて理解することができると思います。

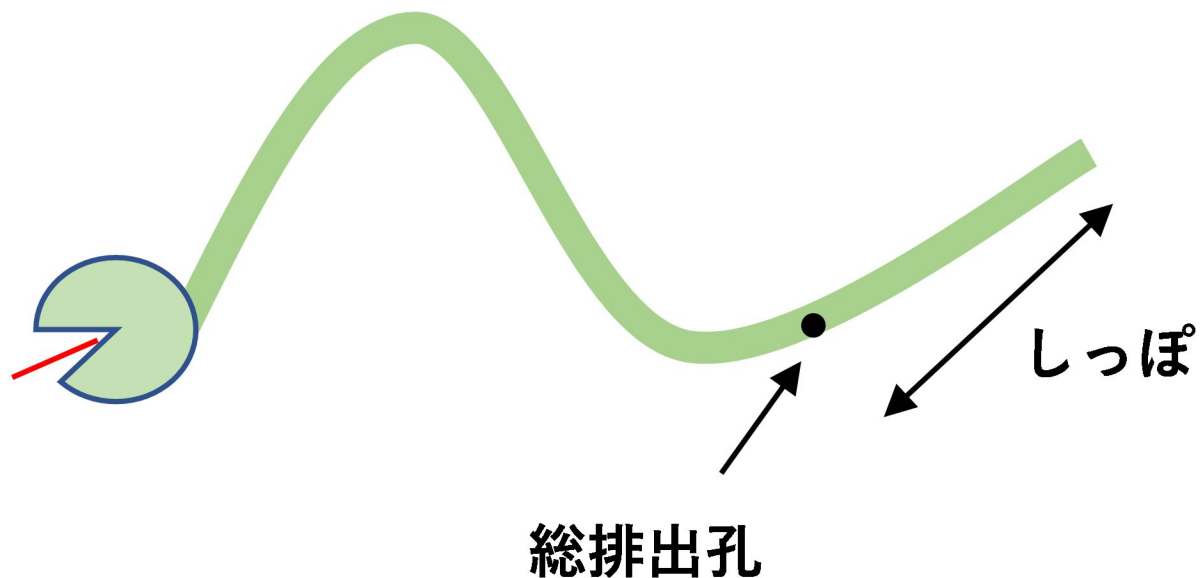
話が脱線してしまいましたが、「百年戦争は実際には116年間続いている」という雑学、是非参考にしてください。

へびのしっぽは体全てを指すわけではない

手や足がなく、長い胴体をくねらせるように移動する「へび」ですが、皆さんは「へび」のどこからどこまでがしっぽだと思いますか？ 頭部を除いた全ての部分がしっぽに該当すると思った方は間違っています。

厳密な定義では、へびのしっぽは「総排出孔から後ろ」を指します。

総排出孔とは、人間でいうところの「肛門」にあたります。へびはこの「総排出孔」からフンと尿を両方とも排出します。



図のように、へびのしっぽは「総排出孔から後ろ」の部分指します。馬や犬などのしっぽは分かりやすいですが、へびのしっぽの定義は難しいですね。

西郷隆盛の肖像画は本人の顔ではない

皆さんは歴史の偉人「西郷隆盛」の顔を見たことがありますか？きっと教科書で誰しもが西郷隆盛の肖像画を見た経験があると思います。

しかしこの肖像画、**西郷隆盛本人の顔ではない**といわれています。

皆さんがよく目にする西郷隆盛の肖像画は「エドワード・キョッソーネ」というイタリアの画家が西郷の親戚などの顔を参考にして描いたものといわれています。

なぜ本人の顔を見て描かなかったのか。一説によると西郷隆盛は撮影されるのを過度に嫌がっており、明治天皇からの撮影命令も拒否したぐらいであったため、本人の顔を撮影することができなかったといわれています。

西郷隆盛に関する雑学に関してさらに新たな雑学を提供しましょう。東京都の上野公園にある「西郷隆盛像」。犬を連れた西郷隆盛の姿をかたどっています。

実はこの銅像、犬を連れてウサギ狩りに行く様子をかたどったものなのです。驚きですね。ちなみにこの犬は薩摩犬で「ツン」という名前をもっています。

話が脱線してしまいましたが、西郷隆盛に関する雑学、是非参考にしてください。

人間は鼻の両穴を通して鼻呼吸しているわけではない

タイトルを見て驚いた方もいると思いますが、これは実際にほぼすべての方に当てはまります。実際に指を鼻の穴の辺りに近づけて鼻息を感じてみてください。左穴か右穴のどちらか一方からしか鼻息を感じないはずです。

これには理由があります。これは「交代制鼻閉（こうたいせいびへい）」といって、「鼻甲介（びこうかい）」という鼻の奥にある部分が数時間ごとに片方ずつ膨張するという人間の生理現象が起こるからです。鼻甲介が膨張している方の穴からは空気が行き来できないため、もう一方の穴からのみ空気の移動が行われるのです。

つまり、風邪をひいていないときでも人間は常に**片穴呼吸**を行っているのです。

このように、身近なものに関することだが意外と知られていなかったという情報はたくさんあります。その中の一部、「人間は鼻の両穴で呼吸をしていない」という知識、是非身につけてください。

ロダンの彫刻『考える人』は何も考えていない

『考える人』といえば膝をつきながら座り込み、その様子から何か考えている「ように」見えるのが特徴的です。

「何か考えている『ように』って、実際に何か考えているんじゃないの？」

と思うかもしれませんが、実はこの彫刻は**考えている様子**ではないのです。実際には「**何かを見ている様子**」を表しているのです。

『考える人』は一体何を見ているのか。実はこの彫刻は『地獄の門』という別の彫刻物の一部分なのです。『地獄の門』は地獄の門から地獄へ突き落される罪人たちの様子が表現された彫刻です。

つまり『考える人』は「地獄に落とされる人々をただ見ているだけ」なのです。何か難しいことを考えているわけではありません。

ではなぜ彫刻の名前が『考える人』になったのか。この彫刻名はアレクシス・リュディエという人によって付けられましたが、名前を付けたのがこの彫刻の作者であるオーギュスト・ロダンの死後であり、詳細を把握することができないリュディエはその彫刻の見た目から『考える人』と名付け、それが現在でも広く伝わっているという歴史があるそうです。

今回を機に、『考える人』についての話があがった場合、「実はあれ考えているわけではなく人々を見ているだけだよ」と教えていただけるとありがたいです。

織姫様と彦星様の関係は「恋人」ではない

7月7日は何の日かご存知でしょうか？

そうです、七夕の日です。神様によって天の川で隔てられた織姫様と彦星様が年に一度だけ会うことができる素敵な日です。「カササギ」という鳥が天の川に橋を架けて二人を会わせるという伝説がありますが、この話は置いておきます。

ここで言及する部分は「織姫様と彦星様の関係」についてです。皆さんはこの二人がどういう関係だと思いますか？あるいはどういう関係だと聞いたことがありますか？きっと多くの人が「恋人」と答えると思います。二人がイチャイチャした結果引き離されたと教えられているため「二人は恋人関係である」という固定観念を持ってしまうからでしょう。

しかし、織姫様と彦星様は**恋人関係ではない**のです。

実はこの二人、結婚しているのです。

そうです、二人の関係は「夫婦」なのです。実際の話では、結婚してから二人は仕事を怠けてしまうほど一緒に過ごすようになり、その様子を見た神様が激怒し、その結果二人は天の川で隔てられてしまいました。

しかし二人は悲しむばかり仕事に専念することができませんでした。それを見て哀れに思った神様は二人が一年に一度だけ会うことを許したそうです。それが7月7日にあたります。七夕の日には二人の再開を祝うとともに、この再開を機にお仕事頑張ってくださいという声をかけたいですね。

というわけで「織姫様と彦星様の関係は夫婦である」という雑学、是非参考にしてください。

電話機を最初に発明したのはベルではない

「電話機を発明した人物はベルである」
ということ、学校などで耳にしたことはないでしょうか？ 名前から電話を連想することができて覚えやすいと感じた方もいると思います。

しかし、電話機を最初に発明したのはベルではありません。

では誰が電話機を発明したのか。それはアメリカ人の発明家「イライシャ・グレイ」という人物です。全く聞きなじみのない名前ですね。実はこの人物、ベルと全く同じ年に電話機を発明しています。それにも関わらず、グレイの名はあまり世に刻まれていないのです。

なぜグレイは「世界初の電話機の発明家」として知られていないのか。ずばりこの理由は「特許権の出願の早さ」にあります。これは先願主義といって、同じものを発明した人がいる場合、先に特許庁に出願した方に特許権を与えるという考え方のことを指します。グレイはベルが電話機を発明する二か月も前にはすでに同じものを発明していました。しかしすぐに特許権の出願をしませんでした。月日が経って特許出願をしたところ、二時間前にベルが先に特許権の出願を終えていたのです。そのため、先に特許出願したベルが「電話機の発明家」として歴史に名を遺すようになったのです。

悲しい話ではありますが、グレイはその後電話機以外にも新たな発明を行って成功しています。この事実を通して、「人生は早めに行動すべき」という意味で、この歴史から何か学べるものがあるのではないのでしょうか。

オスの蚊は血を吸わない

夏になると毎年現れ、我々人間にとっては厄介な存在である「蚊」ですが、全ての蚊が血を吸うと思いませんか？

結論を言うと、**オスの蚊が人間の血を吸うことはほぼありません**。これは人間に限らず哺乳類全般に対して言えることです。**血を吸う蚊はほとんどがメス**なのです。メスの中でも妊娠している蚊しか血を吸いません。

蝶や蜂と同じように、蚊も普段は花の蜜を吸って生きています。しかし繁殖期になって妊娠するようになると植物から得られる栄養の摂取だけでは不十分です。動物性タンパク質も摂取して元気な子どもをつくるために、妊娠しているメスが動物の血を吸いに来るのです。そのため、動物性タンパク質を摂取する必要がないオスにとってはわざわざリスクを冒して血を吸いに来ることはないのです。

この真相を知るまでは蚊はただの厄介な虫として扱っていましたが、これを知ると「子育てって大変だな」と思ってしまいますね。せめてかゆい思いはさせないでほしいという願望はありますが…。

オスの蜂は刺さない

前頁で「蚊」に関する雑学をお伝えしましたが、次は「蜂(ハチ)」に関する雑学をお伝えします。

我々人間にとってはいつ襲ってくるかわからない、畏怖されている「蜂」。刺されるとその部分が大きく腫れ、2回以上刺されると最悪の場合死に至るケースもあります。

そんな恐ろしい蜂ですが、実は**オスが刺してくることはありません**。刺してくるのは基本的に「**メス**」のみです。

これは毒針の構造にあります。この毒針は「産卵管」といって卵を産むための管が変化してできたものです。卵を産まないオスはこの産卵管がありません。危険にさらされると腹部を押し付けて刺す振りはしますが、実際に刺すことはありません。

今回を通して「オスの蜂が刺すことはない」という事実を知ったわけですが、だからといって油断することはできません。外でよく見かける「働きバチ」は全てメスです。オスは女王バチと交尾するために巣の中にいて、外に行って働くことはほとんどありません。

とはいえ蜂も人間と同じで、刺激しなければ怒ることはないため、蜂が近くにいるとき、あるいはいそうな場所に行くときは「黒い服を着るのを控える」「大きな声を出さない」「巣に近づかない」など、蜂を刺激するようなことをしないようにしましょう。

セミは口で鳴いていない

3つ連続で「虫」に関する雑学がでてきて不快な気分をさせてしまった方、申し訳ありません。今度は「セミ」に関する雑学です。

毎年夏を迎えると、皆さんの家の中からもセミの鳴き声が聞こえてくるのではないのでしょうか？オスがメスを呼び求めるための求愛行動として鳴いています。

今さらっと流してしまいましたが、鳴いているセミは全て「オス」です。メスは鳴くことができません。これに関してはきっとほとんどの方がご存知だと思います。今回は「鳴き方」に関してです。

皆さんはセミがどの部位で鳴いていると思いますか？動物と同じように口で鳴くこうふんと思いませんか？セミの口は「口吻」といって、木の樹液を吸うための細長い針のような管しかなく、鳴き声を出すための機能は基本的に備わっておりません。

実は、セミは「**お腹**」で鳴いているのです。
「お腹で鳴くってどういうこと！？」
と思う方もいるかもしれませんが、正確に言うとセミは胸の共鳴版を振るわせ、お腹で鳴き声を反響させることで大きな鳴き声を出しています。オスのセミのお腹の中は基本的に空洞で、音を反響させるための機能が十分に備わっています。反対にメスは卵を産むための「産卵管」があるため空洞にはなっておらず、鳴くこともできないのです。

というわけで「セミはお腹で鳴く」という雑学、是非参考にしてください。

数学の空集合を表す「 $\emptyset$ 」はギリシャ文字の「ファイ」ではない

この雑学に関しては高校生で学習する数学の概念についてのものであるため、自分がまだ高校生になっていない、あるいは高校生で習う数学の概念が自分の人生に必要なという方は読み飛ばすことをオススメします。

高校生の方、あるいは高校の授業を履修したことのある方、数学で「集合」という分野を覚えているでしょうか？「 $A \cap B$ 」や「 $A \cup B$ 」というように、2つ以上のグループがあるときなどに、それらのグループに共通して属するものや片方のみに属するものなどを識別して分布を調べるという数学の概念の一部です。この「集合」という分野の中に「何も要素が含まれていない」ことを表す文字「 $\emptyset$ 」があります。この文字はギリシャ文字の「ファイ（ φ ）」と形が似ていることから、空集合の記号を「ファイ」と呼ぶ方が多いと思います。

しかし、これは**ギリシャ文字のファイではありません**。数学の空集合で使用される記号「 $\emptyset$ 」はギリシャ文字のファイ（ φ ）で代用されるだけであって、実際にファイとは全く別物の記号です。

「 $\emptyset$ 」の読み方に関してですが、数字のゼロに斜線を入れたもので、読み方は特に決まっていないそうです。そのため「 $\emptyset$ 」について説明するときは「空集合の記号」や、指をさして単に「これ」などと説明するしか手段はなさそうです。

ゴリラがドラミングする時の手の形はグーではない

動物園に行くといつも見ることのできる「ゴリラ」。ゴリラは「ドラミング」といって、縄張り争いの時などに敵を威嚇するために自分の胸をたたく行為を行います。皆さんも子供の頃に、壮大な姿で胸をたたくゴリラの様子を見て「ウホッウホッ」と真似したことがあるのではないのでしょうか。

ゴリラのドラミングを真似することはあるけれども、その手の形まで把握している方はなかなか少ないと思います。ドラミングを行う時のゴリラの手の形はグーだと思われやすいですが、じっくり観察すると手の形は「パー」になっています。これは実際にドラミングを行うゴリラのほとんどに共通しています。ゴリラの胸部には大きな袋があり、この部分を息で膨らませてたたくと太鼓のような音が鳴ります。このときにパーの形でたたくとより大きな音がでるようになり、より遠くまで響かせることができるそうです。

今度動物園でゴリラにあった時はグーではなく是非「パー」でドラミングの真似をしてみてください！

日本語を話す国は日本だけではない

恐らく今この本を読んでいる方のほとんどが日本人であると思います。そのため読者のほとんどが日本語を話すことができるし読むことができるだろうと思います。

そんな日本語についてですが、実は日本語を話す国が日本以外にも存在するって知っていましたか？

「そんなの勉強すれば誰でも話せるようになるでしょ」

という人がいると思いますが、今回はそういうことではございません。実は日本語を公用語としている国があるのです。公式に日本語を公用語とする法律が存在しないため事実上の公用語となってしまうのですが、日本語を公用語としているのが太平洋に位置する「パラオ」という国です。パラオの「アソウガウル島」という場所では「アリガトウ」や「コンニチハ」など、聞きなれた言葉を多く耳にするそうです。

なぜパラオでも日本語を話すのか。一説によるとパラオは第一次世界大戦後、長い期間にわたって日本の統治下であり、戦時中には日本に守られており、日本に好意を示したという言い伝えがあります。そのためパラオで日本語を話す人が増えたと言われています。

ちなみにパラオの国旗のデザインも日本の国旗と非常に似ています。これにも日本に関連がある理由で、「第一次世界大戦後に、日本の委任統治領となったこともあり、日本に敬意を示して日章旗をもとにデザインされた」という理由があるそうです。

マクドナルドのロゴはアルファベットの「M」を表していない

ハンバーガーチェーン店として有名である「マクドナルド」。今回はマクドナルドの「ロゴ」について紹介します。

皆さんはマクドナルドのロゴはどのように説明していますか？
「赤字に白色のアルファベット『M』が描かれたものだよ。これは『マクドナルド』を英語で書いたときの頭文字をとったものだよ」と説明していますか？

確かにアルファベットの「M」に見えますが、これは「M」ではないのです。実はこのロゴ、「**ゴールデンアーチ**」をもとにつくられたものなのです。昔のマクドナルドのロゴは現在とは少し違うもので、「屋根」を表す線が二本のゴールデンアーチに刺さったようなロゴでした。これは当時の店舗の形をモチーフに作られたものです。現在では「屋根」を表す真ん中の線がなくなり、アルファベットの「M」のような形のロゴとなったのです。

話を少し変えまして、マクドナルドを含めたほとんどの飲食店のロゴには赤色や赤色に準ずるオレンジ色や黄色が使用されています。これには理由があり、ロゴを強調させる以外に「食欲を増進させるはたらきがある」ということが色彩心理学で分かっているのです。飲食店のロゴでは「食べに来ていただきたい」という思いで赤色が主に使用されているのです。

「マクドナルドのロゴがゴールデンアーチを示すこと」とセットで覚えておくときっと役に立つ知識になると思います。是非参考にしてください。

「フレッシュマン」の定義は「新社会人から」ではない

学生生活が終了し、スーツを着こなして新しく社会人になった人は「フレッシュマン」と呼ばれ、新たな生活を始めていくことになります。

そんな「フレッシュマン」についてですが、実はこの言葉、新社会人だけでなく**新大学生にも使うことができる**って知っていましたか？

一般的には「フレッシュマン」は新社会人のことだけを指すと思われていますが、「フレッシュマン」という言葉の意味を辞書で調べてみると

「新人。特に、大学の新入生や新入社員。」

というように記載されています。つまり「フレッシュマン」という言葉は、春から新大学生になる方に対しても同じように使うことができるのです。そのため、新大学生に対して「フレッシュマン」と呼んで指摘されても間違った使い方はしていませんのでご安心ください。

最後に

以上が本書の「知っておいていただきたい間違いがちな雑学」30選となります。いかがでしたでしょうか？自分が今まで「それが当たり前」だと思い込んでいた知識を覆すような発見はありましたでしょうか？もしくは過去に聞いたことがある雑学もありましたでしょうか？

これらの雑学以外にも、間違った情報として広まっているものはたくさん存在します。その間違った知識は皆さんの将来に影響する場合もあります。それを防ぐために、得た情報をそのまま鵜呑みにするのではなく、自分なりに調べたり試したりすることが皆さんにとって大切なこととなります。そうすることで初めて正しい知識が得られるということになるので、是非「調べる力・行動する力」を身につけるようにしてください。

最後に、50ページにも満たない少ないページ数ではありますが、本書を最後までお読みいただき誠にありがとうございました。本書が皆さんにとって役立つものとなり、新しい知識が得られることを心より願っております。